

第30回情報処理センター等担当者研究集会参加報告

共通機器部門 情報基盤機器管理班

吉田 朋彦

1. はじめに

全国の情報処理系センターに勤務する技術系職員の情報交換・研究発表の場である本研究集会は、大学における情報システムおよびネットワーク基盤の管理・運用に関する問題点や解決策を議論、共有することができる貴重な機会である。新しい技術を習得し、業務に取り入れ業務の効率化を図るとともに、大学情報系センターの今後の方向性を議論、共有するため、本研究集会に参加した。

2. 期間・場所

期間：平成30年9月6日、7日

場所：徳島大学 常三島キャンパス

3. 参加者等

全国の国立大学情報系センター関係者等61名が参加した。

4. 研修内容

発表は、研究発表、現状報告、ポスター発表に分かれて行われ、合計20の発表があった。今

回特に活発な議論があったのはやはり情報セキュリティ、なかでもインシデント対応であり、各組織の CSIRT 担当者が対応の具体的な手順や内容について現状の報告と問題点などについて議論と情報交換が行われた。

また、本学と同様に多数の Wi-Fi アクセスポイントを管理運用するうえでの問題点などについての報告もあった。

5. まとめと感想

情報セキュリティインシデントは、未然に防ぐ努力はもちろん重要であるが、被害にあったときにどう行動するかが重要で、そのルールづくりが必要であるという認識を持った。本学でもインシデントに対応する CSIRT と呼ばれる組織が作られ、私も一員として業務を行っているが、今後はますますその役割が大きくなっていくと思われた。

その他具体的な収穫としては、Wi-Fi コントローラの設定、多要素認証の条件指定、アンチウイルスソフトの選定などの情報である。

また、大学全体で人員が削減されるなか、情報処理センターの役割が将来どうなっていくかという議論もあり、大変参考になった。